

図書館だより 2月号 丹原高校図書委員会

寒い寒い2月が過ぎていきます。でも、春はまだまだですね。こんなときは、こたつに入って温かいお茶を飲みながら本を一冊……。何か心も暖まるものを読みたいですね。山之内先生が、昼前にはエアコンを入れて、昼休みには図書館を温かくしてくれています。ぜひ、図書館に足を向けてみてください。



『歴史学者と読む高校世界史 教科書記述の舞台裏』 小澤実 編著

歴史学者、元教科書調査官、高校教員たちが高校世界史教科書の記述を吟味し、製作の舞台裏を明かす。(1)記述内容と執筆者に関する分析、(2)検定を行う文部科学省、教科書会社、高校教員、受験産業など、教科書というモノ、商品が作られるプロセスや制度、関係者に関する分析、この2方面のアプローチから浮かび上がる実態。ちなみに、我々が入手した情報によると、編者の一人・小澤実先生は、新居田先生・伊藤先生の友人だそうです。

(今回の図書館だよりを担当した)
図書委員(1-1)のおすすめ本



3年生が来なくなり、
図書館も寂しくなり
ました。来てね。

『傷物語』 西尾 維新 著

高校生の阿良々木暦は、春休みに血が凍るほど美しい金髪の吸血鬼「キスショット・アセロラオリオン・ハートアンダーグレード」と出逢う。そのことによって自らも吸血鬼となってしまった阿良々木暦は、様々な人と関わっていく。

彼女がいなければ、「化物」を知ることはなかった...
化物語で人気を博した「物語シリーズ」の前日譚の今作。
化物語では明かされなかった、阿良々木暦とキスショットの関係性、3人の吸血鬼退治専門家とのバトルなどが描かれています。

とても面白いのでぜひ読んでみてください！



図書委員会特集：LGBTQに関する今話題の映画

気づいて欲しい。だれの周りにもいる特別でない存在。自分たちと変わらない、いろんな恋の物語。

『his』 今泉力哉監督

同性の2人が「家族」として世間とどう向き合い、生きていくのか。それぞれの葛藤と親権獲得を巡る離婚調停、周りの人々の理解を求めて奮闘する姿を描く。主演は宮沢氷魚。子供を連れて帰ってきた元恋人を藤原季節が演じる。

『ダンサー そして私たちは踊った』 レヴァン・アキン監督

ジョージアの国立舞踊団のトップダンサーを目指す青年の同性への恋と成長を描く。主人公・メラブを演じるのは、コンテンポラリーダンサーとしてジョージアで活躍するレヴァン・ゲルバヒアニ。本作がスクリーンデビューとなる。

『ロニートとエスティ 彼女たちの選択』 セバスティアン・レリオ監督

イギリスの厳格なユダヤ・コミュニティで生まれ、引かれ合っていたロニートとエスティ。信仰のもとに引き裂かれた2人はロニートの父の死を機会に再会。本当の自分を取り戻すために、ある選択をする。



図書委員会からのお知らせ

3月3日(火)～3月13日(金)の2週間は、朝読書週間です。SHR時に必ず本(漫画本・雑誌を除く)を読もうという期間です。この機会にお気に入りの一冊を見つけてみませんか？
ぜひ、図書館にGo!!

♡ 朝読の合言葉♡
みんなでつくる10分間の静寂
自分と向き合う大切な時間